

主要OECD加盟国の 社会支出と社会的成果

ウォン・ジョンウク（韓国保健社会研究院 未来戦略研究室長）

2014. 0. 00

⑤ 研究の背景

- 2050年の韓国の福祉レジームの姿は？
- 社会福祉支出の財源を確保するための国民負担はどこまで増えるのか？
- 財政健全性と社会保障はどのような関係にあるのか？
- 社会的信頼の低い国における社会保障財源の調達戦略は？

01

OECD加盟国における
公共社会福祉支出の長期予測

02

OECD加盟国における
社会保障財政と社会的成果

03

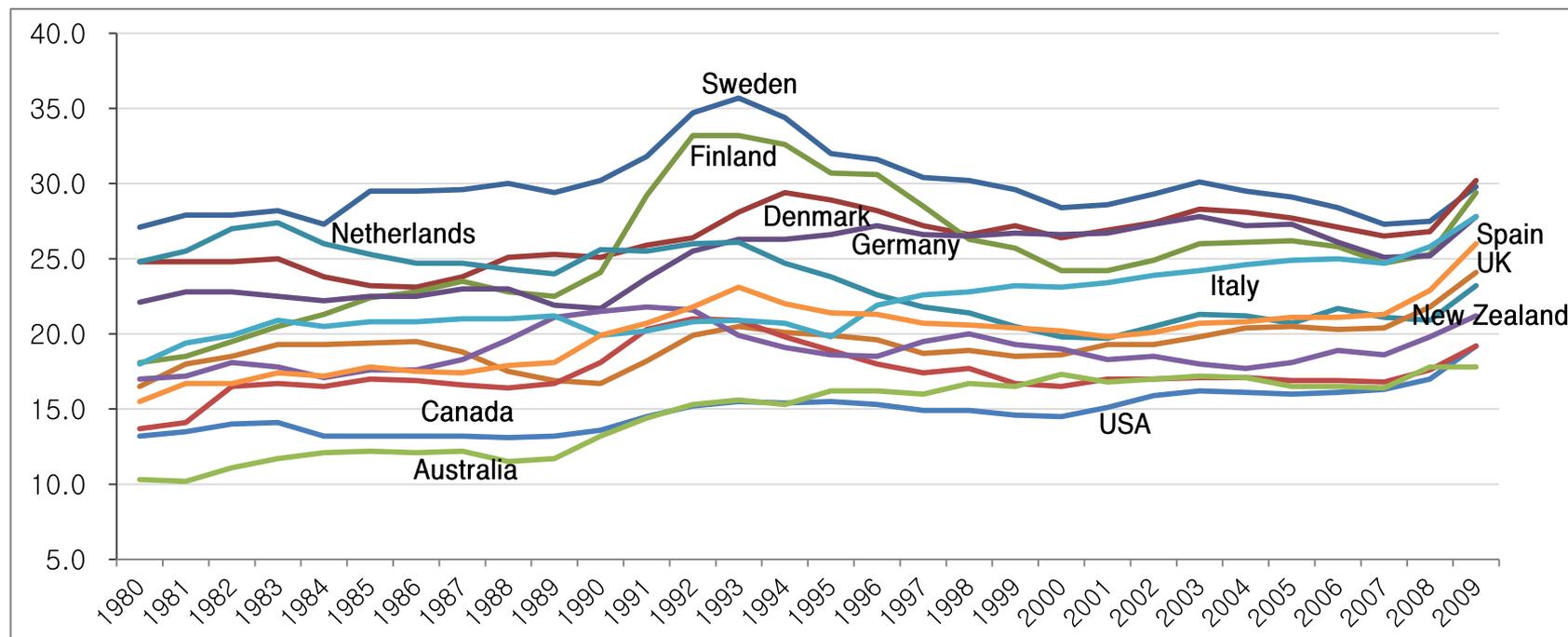
負担と支出のバランス

1. OECD加盟国における公共社会福祉支出の長期予測

公共社会福祉支出の傾向（1980-2009）

OECD加盟国における公共社会福祉支出の傾向（1980-2009）：不安定な動き

（単位：GDPに対する比率％）

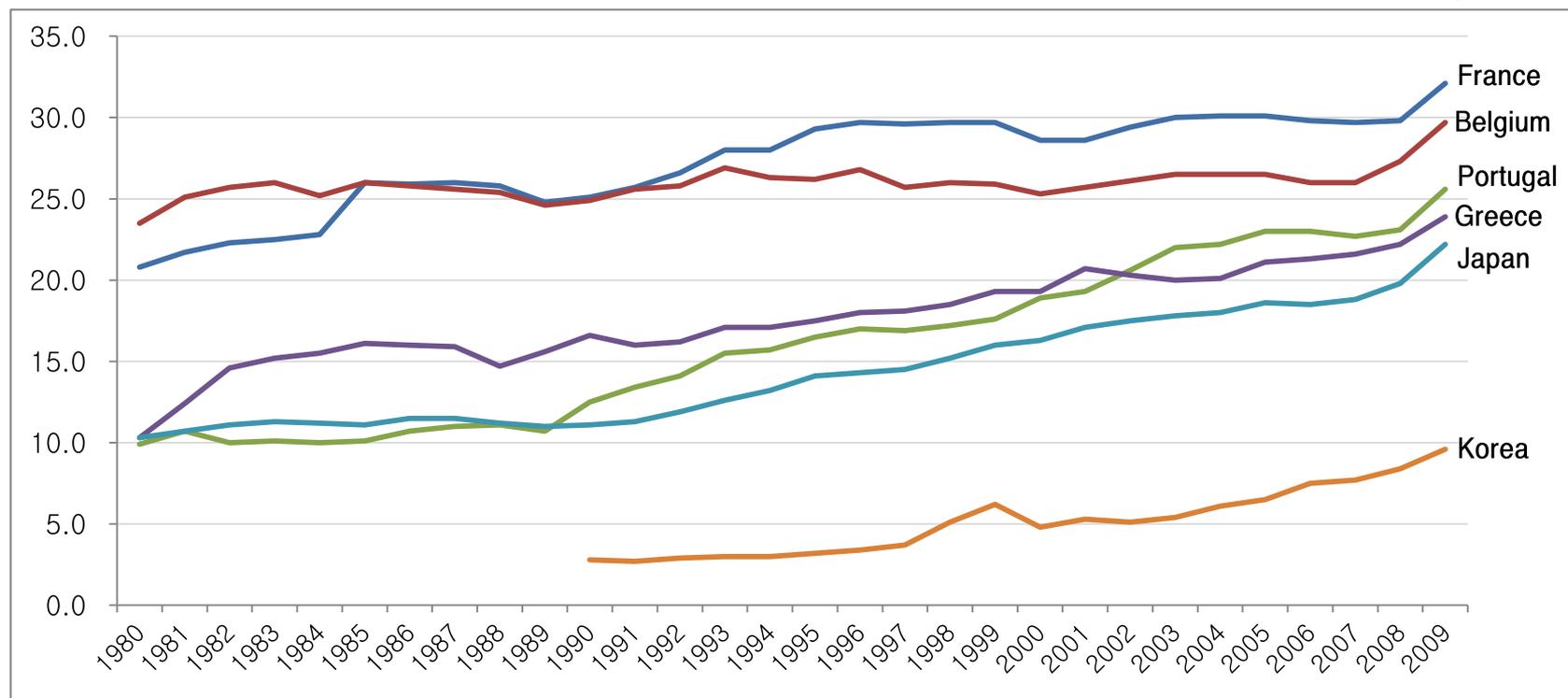


❖注：公共社会福祉支出の国家別時系列分析にて乱高下など支出レベルが不安定なため分析対象から除外された期間は、以下の通りである。
 スウェーデン（1990-1998）、デンマーク（1990-1998）、フィンランド（1990-1998）、ドイツ（1989-1990）、オランダ（1980-1999）、英国（1988-1991）、
 米国（1992-1998）、カナダ（1989-1999）、オーストラリア（1988-1989）、ニュージーランド（1989-1996）、イタリア（1990-1995）、スペイン（1991-2001）
 ❖資料：OECD, Stat.

公共社会福祉支出の傾向 (1980-2009)

OECD加盟国における公共社会福祉支出の傾向 (1980-2009) : 安定した動き

単位: GDPに対する比率 (%)



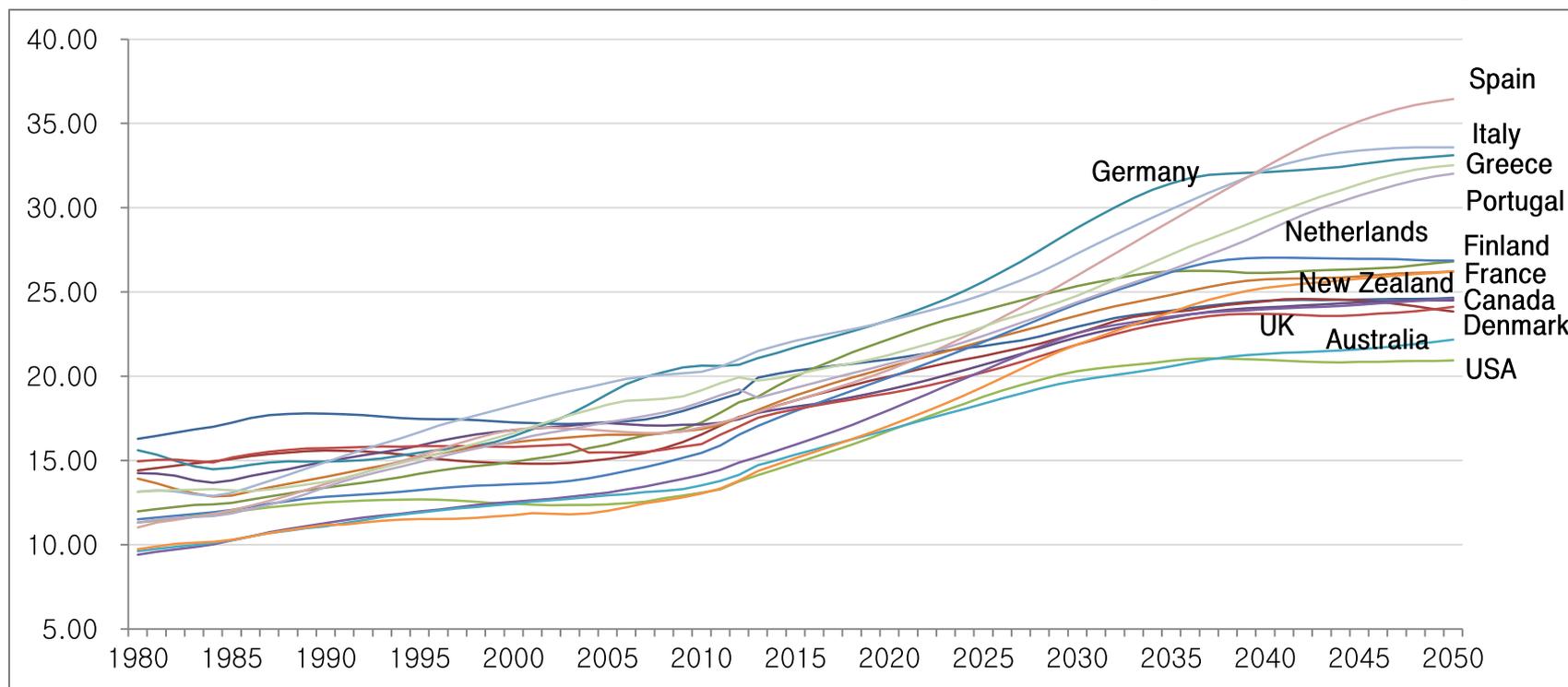
❖ 注: 相対的に過去の傾向が安定している国については、過去の傾向の全区間を推定に利用。

❖ 資料: OECD. Stat.

② 説明変数である人口の高齢化の傾向（1980-2050）

- 高齢化率：ARMAX推定式の独立変数としてlog（高齢化率）が用いられた国家群

単位：65歳以上が全人口に占める割合（%）

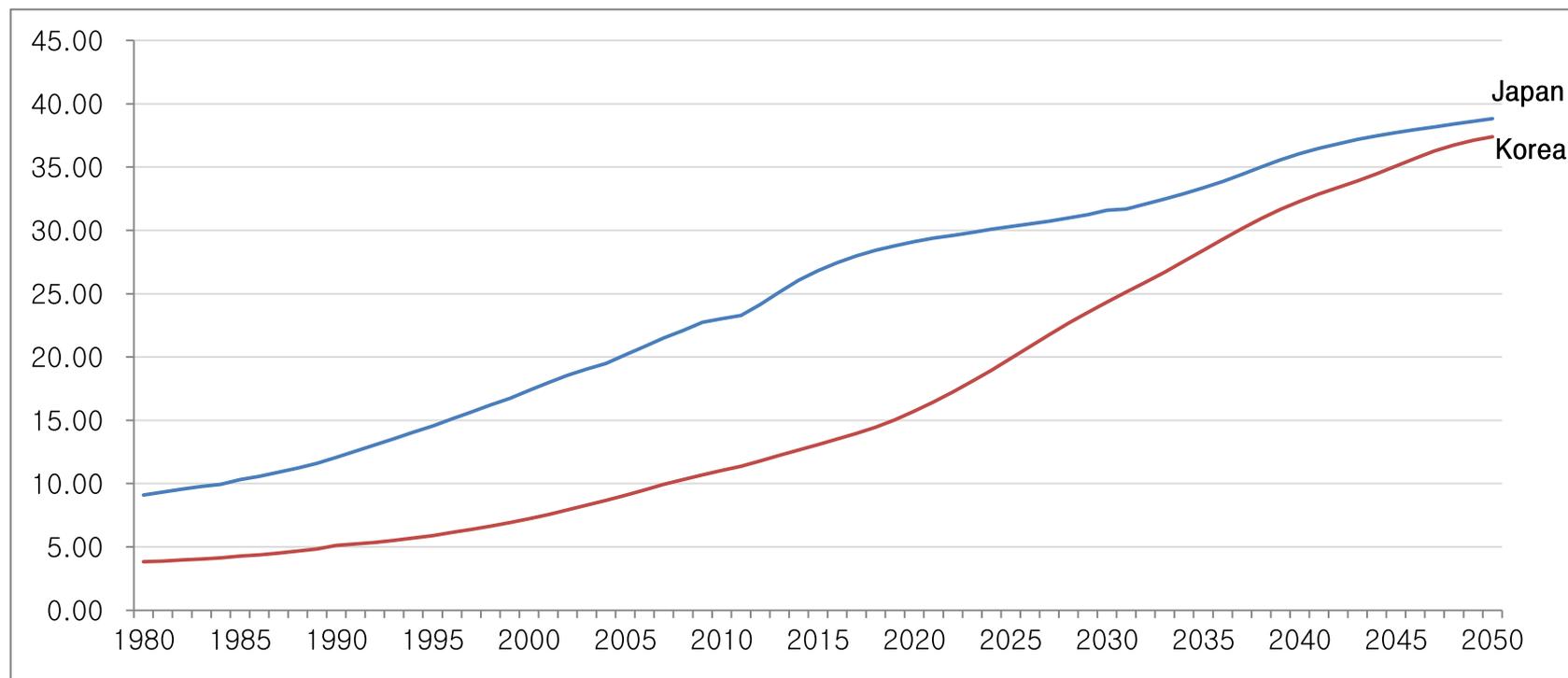


❖ 資料：OECD. Stat.

② 説明変数である人口の高齢化の傾向（1980-2050）

- 高齢化率：ARMAX推定式の独立変数として、高齢化率が線形で適用された国家群

単位：65歳以上が全人口に占める割合（%）



❖ 資料：OECD. Stat.

➤ 推計モデルの選択と人口加重値

● 本研究で用いたモデル

$SOCX_t = B_0 + B_1 \log(aging_t) + \mu_t$ (スウェーデン、デンマーク)	…式 (1)
$SOCX_t = B_0 + B_1 \log(aging_t) + \mu_t$ (スウェーデン、デンマーク、韓国、日本を除く14カ国) $\mu_t = p\mu_{t-1} + \epsilon_t$	…式 (2)
$SOCX_t = B_0 + B_1 aging_t + \mu_t$ (韓国、日本) $\mu_t = p\mu_{t-1} + \epsilon_t$	…式 (3)

● 国家別人口加重値

平均人口規模区間 1980~2009 (千人)	加重値	国家群
3,670~29,017	-5%	ニュージーランド、ポルトガル、豪州、ベルギー、カナダ、デンマーク、フィンランド、 ギリシャ、オランダ、スウェーデン
40,230~58,064	0	フランス、イタリア、韓国、スペイン、英国
80,561~265,289	5%	ドイツ、日本、米国

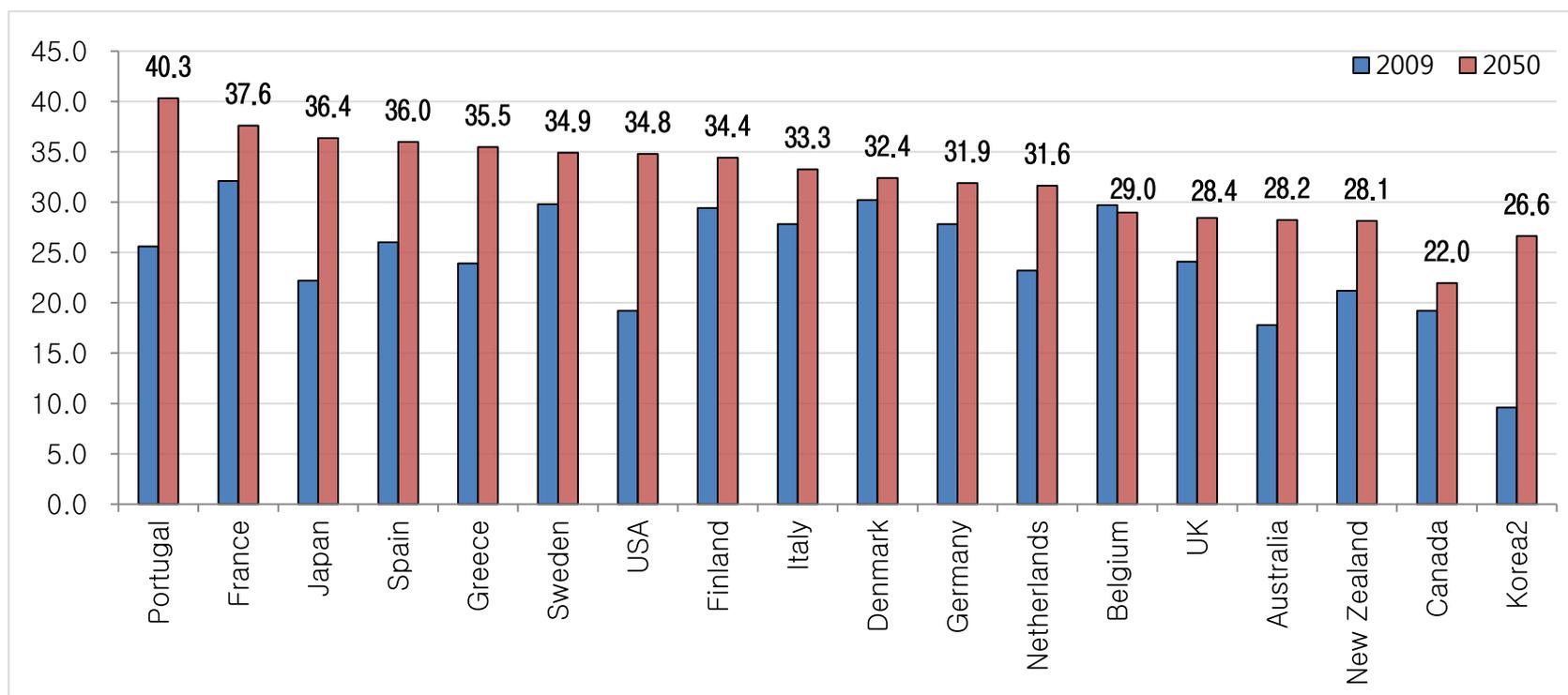
❖ 資料: OECD. Stat.

1. OECD加盟国における公共社会福祉支出の長期予測

➤ 推計結果

◎ 主要OECD加盟国の公共社会福祉支出（2009、2050）

単位：GDPに対する比率（%）

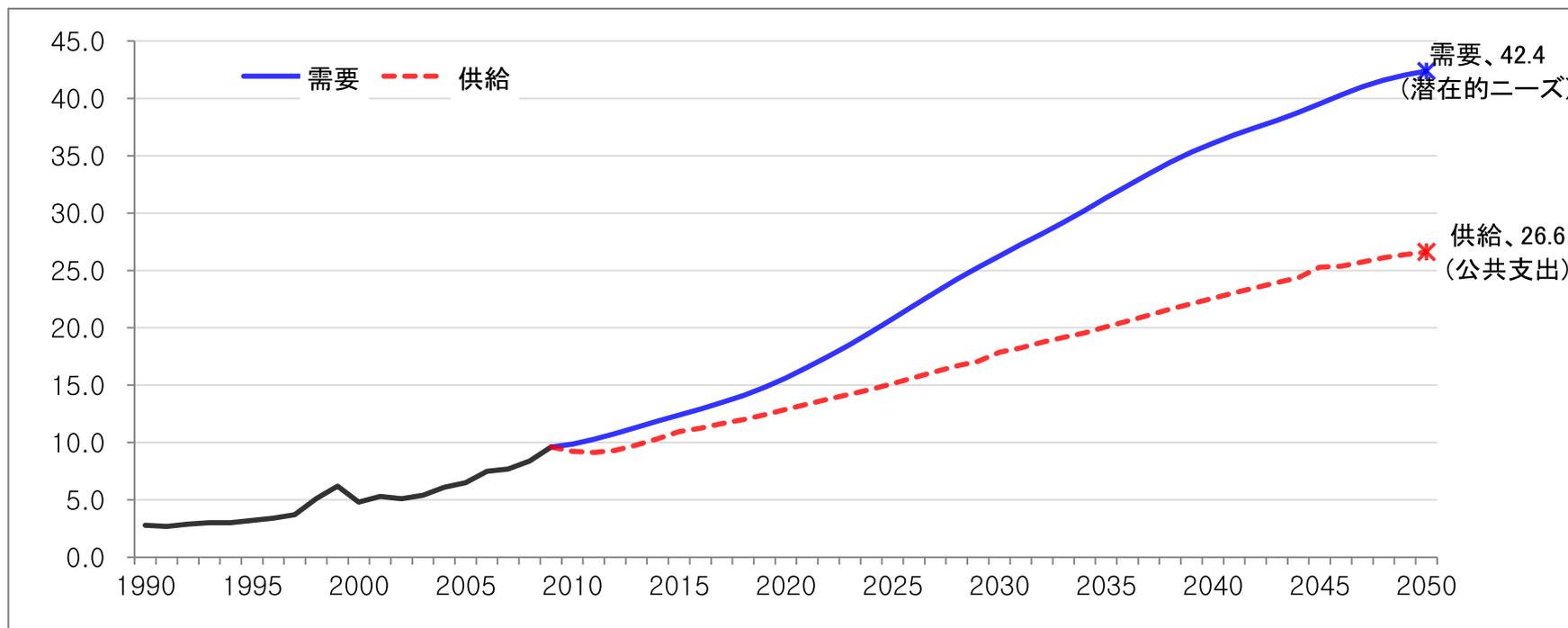


❖ 注：韓国2は、保健社会研究院による社会保障長期財政推計の結果。

➤ 推計結果

◎ 韓国における福祉支出の需要と供給線

単位：GDPに対する比率（％）



- ❖ 注： 1) 1990-2009は、実績値（黒の実線）。
- 2) 2010-2050の供給（赤い点線）は、保健社会研究院による財政推計の結果。
- 3) 2010-2050の需要（青い実線）は、ARIMA (1, 0, 0) による推計した結果。

② クラスター分析のための変数設定

● 変数及び測定単位

区分		指標名	測定単位	備考
社会的 成果指標	貧困指標	① ジニ係数		2010年時点
		② 貧困率（中位所得50%基準）	%	2010年時点
	出産及び 女性経済活動指標	③ 合計特殊出生率（TFR）	人	2006-2010年の平均
		④ 15～65歳の女性の経済活動参加率	%	2006-2010年の平均
財政指標		⑤ 一般政府債務	GDP比（%）	2010年時点
		⑥ 一般政府純支出	GDP比（%）	1995-2010年の平均
		⑦ 国民負担率	GDP比（%）	1995-2010年の平均
社会保障 財政指標		⑧ 公共社会福祉支出 (Public Social Expenditure)	GDP比（%）	1995-2009年の平均
		⑨ 一般政府収入総額に対する社会保険寄与金収入の割合	%	1995-2010年の平均
		⑩ 一般政府支出総額に対する公共社会福祉支出 (SOCX) の割合	GDP比（%）	1995-2010年の平均

➤ クラスタ分析の基準

● 社会的成果基準

-社会的成果-1 : 出生率（2006～2010）と女性の経済活動参加率（2006～2010）

- ① 2つの変数の数値が高い国家群
- ② 2つの変数の数値が相対的に低い国家群
- ③ 2つの変数のいずれかの一つだけが相対的に優位、または劣位にある国家群

-社会的成果-2 ジニ係数（2010）と中位所得50%以下の貧困率（2010）

- ① 貧困関連の社会的成果が相対的に優位にある国家群
- ② 貧困関連の社会的成果が相対的に劣位にある国家群

● 財政健全性基準

-国民負担率（1995-2010）と一般政府純支出（1995-2010）

- ① 財政健全性の高い集団
- ② 財政健全性の中間の集団
- ③ 財政健全性の低い集団

2. OECD加盟国における社会保障財政と社会的成果

② クラスタ分析の結果：社会的成果変数基準(1-①)

● 社会的成果-1 基準のクラスタ分析：出生率（2006～2010）と女性の経済活動参加率（2006～2010）

① 2つの変数の数値が高い国家群

- クラスタ4と6は、出生率と女性の経済活動参加率の2つの変数の数値がともに高い国家群で、これらの国々の財政健全性は、ほかの集団に比べて相対的に良好であった。
- 一般政府純支出は対GDP比-0.074%で、一般政府の収入と支出がバランスをなしており、国民負担率もまた対GDP比43.2%と平均を大幅に上回っている。
- 福祉支出水準も対GDP比24.5%と、高負担/高福祉国家に分類される。
- 社会保険負担の割合が相対的に低いことも特徴。

クラスタ分類		財政健全性			社会保障財政		
		国家	一般政府純支出 (対GDP比%)	国民負担率1) (対GDP比%)	福祉支出水準2) (対GDP比%)	社会保険負担 /国民負担 (%)	SOCX /一般政府支出 (%)
社会的 成果-1 基準	上位 (4, 6)	デンマーク	-0.86	高負担	高福祉	4	50
		フィンランド	-1.54	高負担	高福祉	28	51
		スウェーデン	-0.07	高負担	高福祉	23	52
		カナダ	0.36	中負担	中福祉	14	43
		オランダ	1.74	高負担	中福祉	39	45
		平均	-0.074	43.2	24.57	21.6	48.2

※ 注：1) 国民負担率は39.2%～49.7%を高負担国(9カ国)、33%～37%を中負担国(8カ国)、26%～31%を低負担国(4カ国)に分類。

2) 公共社会福祉支出は、24.09%～29.9%を高福祉国(8カ国)、20.2%～21.5%を中福祉国(6カ国)、16%～18.9%を低福祉国(7カ国)に分類。

資料：OECD, Stat.

② クラスター分析の結果：社会的成果変数基準(1-②)

- 社会的成果-1 基準のクラスター分析：出生率（2006～2010）と女性の経済活動参加率（2006～2010）

② 2つの変数の数値が相対的に低い国家群

クラスター分類		財政健全性			社会保障財政		
		国家	一般政府純支出	国民負担率1)	福祉支出水準2)	社会保険負担/国民負担	SOCX/一般政府支出
			(対GDP比%)	(対GDP比%)	(対GDP比%)	(%)	(%)
社会的成果-1 基準	下位 (3, 5)	イタリア	3.65	高負担	高福祉	31	49
		ポーランド	4.62	中負担	中福祉	36	48
		チェコ	4.51	中負担	低福祉	44	43
		スロバキア	5.63	中負担	低福祉	41	41
		スペイン	2.69	中負担	中福祉	37	53
		平均	4.22	35.6	20.70	37.8	46.8

❖ 注：1) 国民負担率は39.2%～49.7%を高負担国(9カ国)、33%～37%を中負担国(8カ国)、26%～31%を低負担国(4カ国)に分類。

2) 公共社会福祉支出は、24.09%～29.9%を高福祉国(8カ国)、20.2%～21.5%を中福祉国(6カ国)、16%～18.9%を低福祉国(7カ国)に分類。

資料：OECD. Stat.

2. OECD加盟国における社会保障財政と社会的成果

② クラスタ分析の結果：社会的成果変数基準（1-③）

● 社会的成果-1基準のクラスタ分析：出生率（2006～2010）と女性の経済活動参加率（2006～2010）

③ 2つの変数のいずれか1つの変数が相対的に優位または劣位にある国家群

クラスタ分類		財政健全性			社会保障財政		
		国家	一般政府純支出	国民負担率1)	福祉支出水準2)	社会保険負担/国民負担	SOCX / 一般政府支出
			(対GDP比%)	(対GDP比%)	(対GDP比%)	(%)	(%)
社会的 成果-1 基準	出生率のみ 上位 (1)	フランス	3.59	高負担	高福祉	41	56
		ベルギー	1.61	高負担	高福祉	35	53
		米国	4.26	低負担	低福祉	26	44
		英国	3.24	中負担	中福祉	21	48
		豪州	0.85	低負担	低福祉	0	48
		アイルランド	2.26	低負担	低福祉	20	44
		平均	2.63	35.74	21.11	23.8	48.8
	女性 経済活動 参加率のみ 上位 (2)	スイス	0.74	低負担	低福祉	25	55
		スロベニア	3.07	中負担	中福祉	39	44
		オーストリア	2.51	高負担	高福祉	37	52
		ポルトガル	4.89	中負担	中福祉	33	47
		ドイツ	2.83	高負担	高福祉	45	56
		平均	2.80	36.9	22.73	35.8	50.8

※ 注：1) 国民負担率は39.2%～49.7%を高負担国(9カ国)、33%～37%を中負担国(8カ国)、26%～31%を低負担国(4カ国)に分類。

2) 公共社会福祉支出は、24.09%～29.9%を高福祉国(8カ国)、20.2%～21.5%を中福祉国(6カ国)、16%～18.9%を低福祉国(7カ国)に分類。

資料：OECD. Stat.

2. OECD加盟国における社会保障財政と社会的成果

② クラスタ分析の結果：社会的成果変数基準(2-①)

● 社会的成果-2基準のクラスタ分析: ジニ係数(2010)と中位所得50%以下の貧困率(2010)

① 貧困関連の社会的成果が相対的に優位にある国家群

クラスタ分類		財政健全性			社会保障財政		
		国家	一般政府純支出 (対GDP比%)	国民負担率1) (対GDP比%)	福祉支出水準2) (対GDP比%)	社会保険負担 /国民負担 (%)	SOCX /一般政府支出 (%)
社会的 成果-2 基準	上位 (2, 3, 6)	チェコ	4.51	中負担	低福祉	44	43
		デンマーク	-0.86	高負担	高福祉	4	50
		フィンランド	-1.54	高負担	高福祉	28	51
		スロベニア	3.07	中負担	中福祉	39	44
		スロバキア	5.63	中負担	低福祉	41	41
		ベルギー	1.61	高負担	高福祉	35	53
		オーストリア	2.51	高負担	高福祉	37	52
		スウェーデン	-0.07	高負担	高福祉	23	52
		フランス	3.59	高負担	高福祉	41	56
		ドイツ	2.83	中負担	高福祉	45	56
		スイス	0.74	低負担	低福祉	25	55
		オランダ	1.74	高負担	中福祉	39	45
		平均	1.98	40.9	24.26	33	49.8

※注: 1) 国民負担率は39.2%~49.7%を高負担国(9カ国)、33%~37%を中負担国(8カ国)、26%~31%を低負担国(4カ国)に分類。

2) 公共社会福祉支出は、24.09%~29.9%を高福祉国(8カ国)、20.2%~21.5%を中福祉国(6カ国)、16%~18.9%を低福祉国(7カ国)に分類。

資料: OECD. Stat.

2. OECD加盟国における社会保障財政と社会的成果

② クラスタ分析の結果：社会的成果変数基準(2-②)

● 社会的成果-2基準のクラスタ分析：ジニ係数（2010）と中位所得50%以下の貧困率（2010）

② 貧困関連の社会的成果が相対的に劣位にある国家群

クラスタ分類	財政健全性			社会保障財政			
	国家	一般政府純支出	国民負担率1)	福祉支出水準2)	社会保険負担 /国民負担	SOCX /一般政府支出	
		(対GDP比%)	(対GDP比%)	(対GDP比%)	(%)	(%)	
社会的 成果-2 基準	下位 (1, 4, 5)	米国	4.26	低負担	低福祉	26	44
		ポルトガル	4.89	中負担	中福祉	33	47
		ポーランド	4.62	中負担	中福祉	36	48
		カナダ	0.36	中負担	中福祉	16	43
		英国	3.24	中負担	中福祉	21	48
		アイルランド	2.26	低負担	低福祉	20	44
		イタリア	3.65	高負担	中福祉	31	49
		スペイン	2.69	中負担	中福祉	37	53
		豪州	0.85	低負担	低福祉	0	48
		平均	2.98	33.4	19.49	24	47.1

※ 注：1) 国民負担率は39.2%~49.7%を高負担国(9カ国)、33%~37%を中負担国(8カ国)、26%~31%を低負担国(4カ国)に分類。

2) 公共社会福祉支出は、24.09%~29.9%を高福祉国(8カ国)、20.2%~21.5%を中福祉国(6カ国)、16%~18.9%を低福祉国(7カ国)に分類。

資料：OECD. Stat.

➤ クラスタ分析の結果：財政健全性基準 (①)

● 財政健全性基準のクラスタ分析：国民負担率（1995-2010）と一般政府純支出（1995-2010）

① 財政健全性上位集団

クラスタ分類		社会的成果-1		社会的成果-2		社会保障財政指標		
		国家	出生率 (人)	女性経済活動 参加率 (%)	ジニ 係数	中位所得 50% (%)	負担/支出 (対GDP比%)	社会保険負担 /国民負担 (%)
財政 健全性 基準	上位 (4, 6)	デンマーク	1.86	77.0	0.25	0.06	高負担/高福祉	4
		フィンランド	1.85	74.04	0.26	0.073	高負担/高福祉	28
		スウェーデン	1.91	77.44	0.27	0.091	高負担/高福祉	23
		豪州	1.90	70.84	0.33	0.144	低負担/低福祉	0
		カナダ	1.64	74.0	0.32	0.119	中負担/中福祉	14
		ベルギー	1.84	60.96	0.26	0.097	高負担/高福祉	35
		スイス	1.48	81.49	0.30	0.095	低負担/低福祉	25
		平均	1.78	73.68	0.28	0.097	40.0/23.4	18.4

2. OECD加盟国における社会保障財政と社会的成果

② クラスタ分析の結果：財政健全性基準 (②)

● 財政健全性基準のクラスタ分析：国民負担率(1995-2010)と一般政府純支出(1995-2010)

② 財政健全性中位集団

クラスタ分類	社会的成果-1			社会的成果-2		社会保障財政指標		
	国家	出生率 (人)	女性経済活動 参加率 (%)	ジニ 係数	中位所得 50% (%)	負担/支出 (対GDP比%)	社会保険負担 /国民負担 (%)	
財政 健全性 基準	中位 (2, 3)	オランダ	1.76	72.83	0.29	0.075	高負担/中福祉	39
		英国	1.92	70.03	0.34	0.10	中負担/中福祉	21
		フランス	1.99	66.65	0.30	0.079	高負担/高福祉	41
		スロベニア	1.45	68.95	0.25	0.092	中負担/中福祉	39
		イタリア	1.39	51.22	0.32	0.13	高負担/高福祉	31
		ドイツ	1.37	70.36	0.29	0.088	高負担/高福祉	45
		スペイン	1.40	63.26	0.34	0.154	中負担/中福祉	37
		アイルランド	2.03	63.50	0.33	0.09	低負担/低福祉	20
		オーストリア	1.41	69.06	0.27	0.081	高負担/高福祉	37
		平均	1.63	66.20	0.30	0.098	39.0/23.1	34.4

2. OECD加盟国における社会保障財政と社会的成果

② クラスタ分析の結果：財政健全性基準 (③)

● 財政健全性基準のクラスタ分析：国民負担率(1995-2010)と一般政府純支出(1995-2010)

③ 財政健全性下位集団

クラスタ分類		社会的成果-1			社会的成果-2		社会保障財政指標	
		国家	出生率 (人)	女性経済活動 参加率 (%)	ジニ 係数	中位所得 50% (%)	負担/支出 (対GDP比%)	社会保険負担 /国民負担 (%)
財政 健全性 基準	下位 (1, 5)	チェコ	1.45	62.28	0.26	0.058	中負担/低福祉	44
		ポルトガル	1.35	73.25	0.34	0.114	中負担/中福祉	33
		米国	2.05	69.57	0.38	0.174	低負担/低福祉	26
		スロバキア	1.32	61.64	0.26	0.078	中負担/低福祉	41
		ポーランド	1.35	56.34	0.31	0.110	中負担/中福祉	36
		平均	1.50	64.61	0.31	0.106	32.2/18.93	36.0

④ クラスタ分析の結果

- 財政健全性が相対的に高い場合、社会的成果も良好である
- これらの国々は、社会保険よりは一般租税制度によって社会保障財源を確保しているものとみられる
- また、これらの国々は、負担と支出の両方が高い高負担/高福祉群に入っている

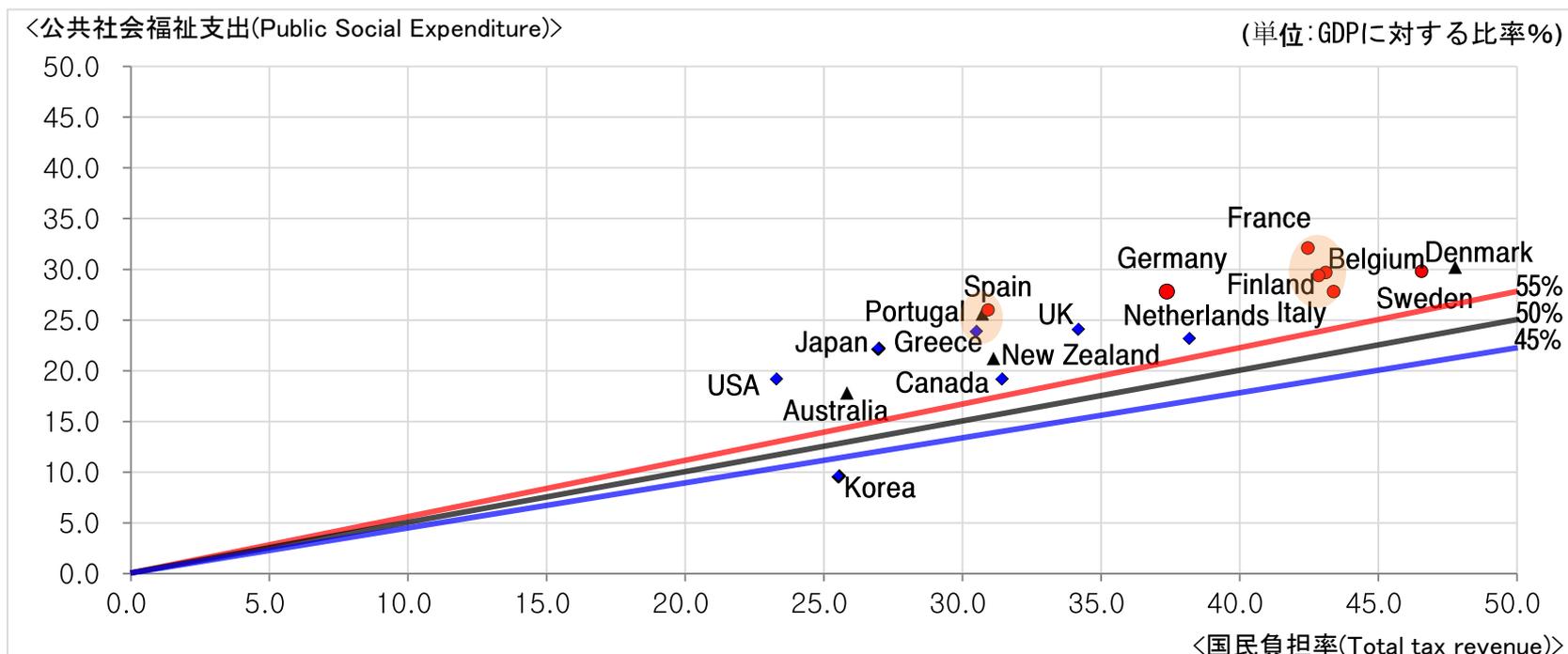
☞ 高負担/高福祉国の財政健全性がかえって高いということは、社会保険財政の収入と支出が一般財政（租税）よりも硬直的に運営され、財政の持続可能性が脆弱になる可能性があることを示唆している

3. 負担と支出のバランス

③ 規範的均衡財政基準

● 規範的均衡財政線

- 各国家群における均衡財政線からの横の距離が均衡財政のために必要な追加の国民負担率。
- すべての国において、規範的な均衡財政線からの距離が離れているのがわかる。



❖ 国民負担により一般政府支出全体をカバーするとの仮定の下、均衡財政線との距離を示したもので表示記号により均衡財政線の傾きを区分。●：傾き 0.55 / ▲：傾き 0.5 / ◆傾き 0.45.

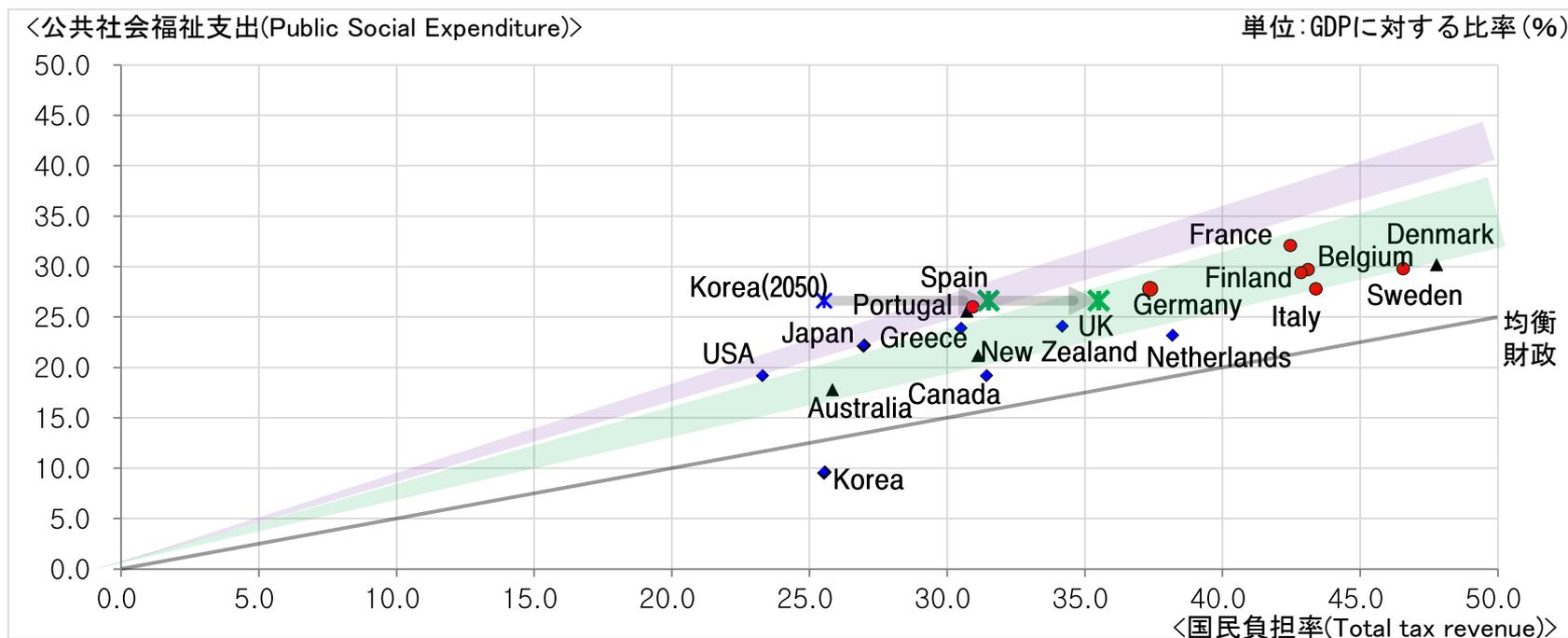
❖ 資料：OECD. Stat.

3. 負担と支出のバランス

➤ 相対的均衡財政基準

● 相対的均衡財政線（領域）

- 相対的均衡財政線（領域）は、一般的に福祉国家として知られている国における負担と支出の関係を示したものの。



❖ 国民負担により一般政府支出全体をカバーするとの仮定の下、均衡財政線との距離を示したもので表示記号により均衡財政線の傾きを区分。●：傾き 0.55 / ▲：傾き 0.5 / ◆傾き 0.45.

❖ 資料：OECD. Stat.

3. 負担と支出のバランス

② 韓国における国民負担率の予測

● 各国の均衡財政状況を踏まえて予測した2050年における韓国の必要国民負担率

- 2050年にドイツ水準の相対的均衡財政のレベルを維持するためには、国民負担率を対GDP比で38%まで拡大させなければならないことを意味し、スペインやポルトガルのような相対的均衡財政線に沿って動くとしても、2050年における韓国の国民負担率は約33%~34%まで拡大しなければ

均衡財政基準 (2011)	2050年SOCX (韓国)	対GDP比の一般政府支出1)	財政赤字率2)	財政赤字	必要な 国民負担率	現行の 国民負担率	国民負担率 引上幅
		(a)	(b)	(c=a×b)	(d)	(e)	(f=d-e)
ドイツ	26.6	46.02	-17.01	-7.8	38.22	25.5	12.7
フランス	26.6	47.07	-20.77	-9.8	37.27	25.5	11.7
スペイン	26.6	47.41	-29.37	-13.9	33.51	25.5	8.0
ベルギー	26.6	48.10	-17.50	-8.4	39.7	25.5	14.2
スウェーデン	26.6	48.98	-13.30	-6.5	42.48	25.5	17.0
イタリア	26.6	49.62	-13.10	-6.5	43.12	25.5	17.6
フィンランド	26.6	50.66	-20.32	-10.3	40.36	25.5	14.9
デンマーク	26.6	51.05	-17.21	-8.8	42.25	25.5	16.8
ポルトガル	26.6	51.75	-32.73	-16.9	34.85	25.5	9.3
ニュージーランド	26.6	52.98	-26.48	-14.0	38.98	25.5	13.5
豪州	26.6	55.41	-26.56	-14.7	40.71	25.5	15.2
英国	26.6	56.59	-23.78	-13.5	43.09	25.5	17.6
米国	26.6	57.95	-40.89	-23.7	34.25	25.5	8.7
オランダ	26.6	59.11	-21.98	-13.0	46.11	25.5	20.9
ギリシャ	26.6	59.90	-36.67	-22.0	37.94	25.5	12.4
カナダ	26.6	61.43	-23.87	-14.7	46.73	25.5	21.2
日本	26.6	63.79	-31.50	-20.1	43.69	25.5	18.2

※ 注： 1) 韓国と各国の一般政府支出に対する公共社会福祉支出の割合が同じであるとの仮定の下で26.6%/（韓国の一般政府支出/SOCX public/100）を計算
2) 各国の一般政府支出総額に対する財政赤字で、支出総額をカバーするために必要な追加の国民負担率が支出総額に占める割合

3. 負担と支出のバランス

③ 韓国における国民負担率の予測

● 韓国のSOCXの増加による均衡財政基準別の必要国民負担率

単位：GDPに対する比率（%）

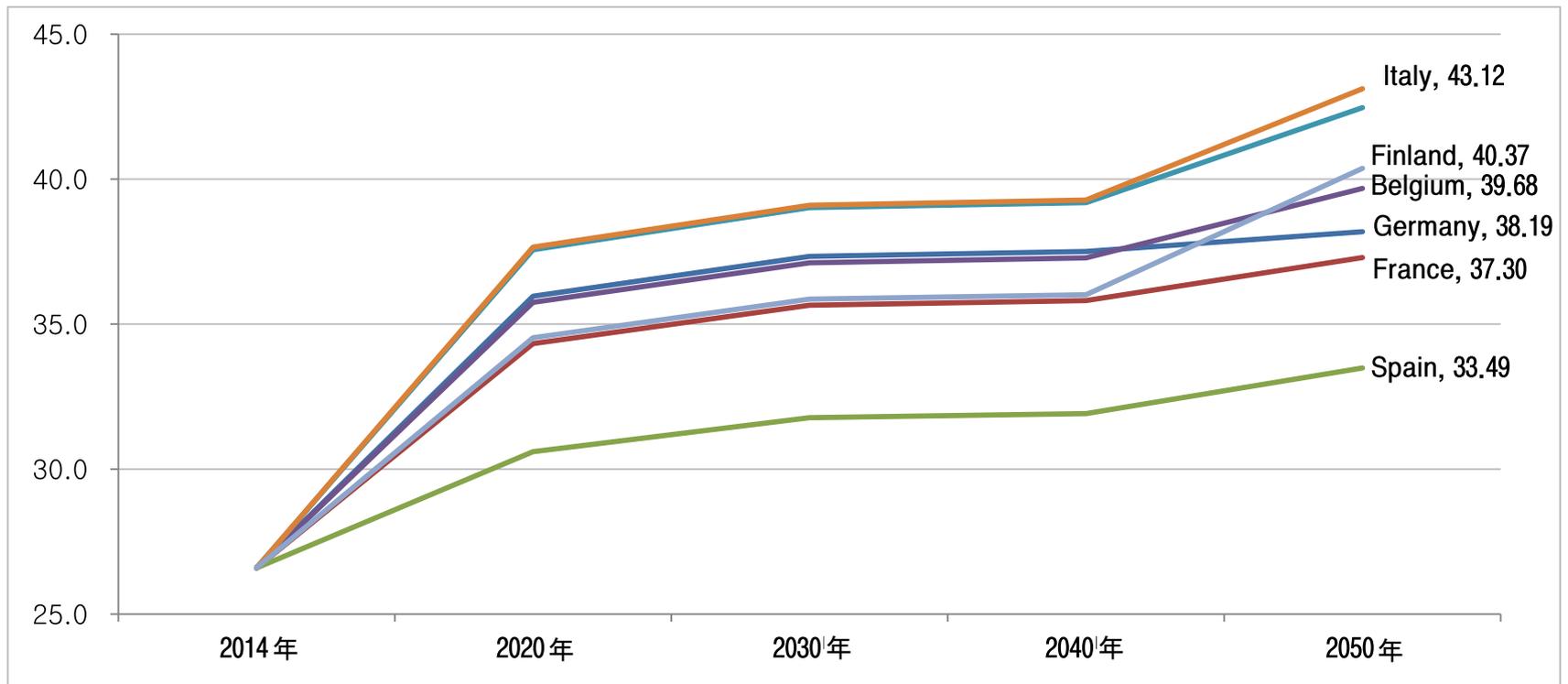
区分	均衡財政基準国家	ドイツ	フランス	スペイン	ベルギー	スウェーデン	イタリア	フィンランド
	年度							
韓国	2020年	35.96	34.33	30.60	35.75	37.57	37.66	34.53
	2030年	37.34	35.65	31.78	37.12	39.02	39.10	35.86
	2040年	37.51	35.81	31.92	37.29	39.19	39.28	36.01
	2050年	38.19	37.30	33.49	39.68	42.47	43.12	40.37

3. 負担と支出のバランス

③ 韓国における国民負担率の予測

● 財政均衡基準別の韓国の必要国民負担率

単位：GDPに対する比率（%）



3. 負担と支出のバランス

② 韓国における国民負担率の予測

① 韓国の福祉レジームの予測

単位: GDPに対する比率 (%)

財政均衡基準	2050年における負担/支出		2050年における負担/支出基準の福祉レジーム	成果
	国民負担	支出		
イタリア	43.12	26.6	高負担/中福祉	-社会保険の割合が高く、 貧困指標の改善は見込まれるが、 出生率や女性の経済活動参加率 の改善効果は低いものとみられる
スウェーデン	42.47	26.6		
フィンランド	40.37	26.6		
ベルギー	39.68	26.6		
ドイツ	38.19	26.6	中負担/中福祉	-国民負担が一定水準増加する との前提の下、社会保険が中心と なる欧州の国々と同様の 特徴を示すことが予想されるが、 保障性は相対的に低く、支出/負 担水準は、「中負担/中福祉」タ イプに発展するものとみられる
フランス	37.30	26.6		
スペイン	33.49)	26.6	低負担/中福祉	

❖注: 1) 国民負担33.49の水準の場合、社会保障制度の持続可能性が危うくなる可能性がある。

ご清聴
ありがとうございました。



別添：英国・米国・韓国の民間社会福祉支出の構成(2009)

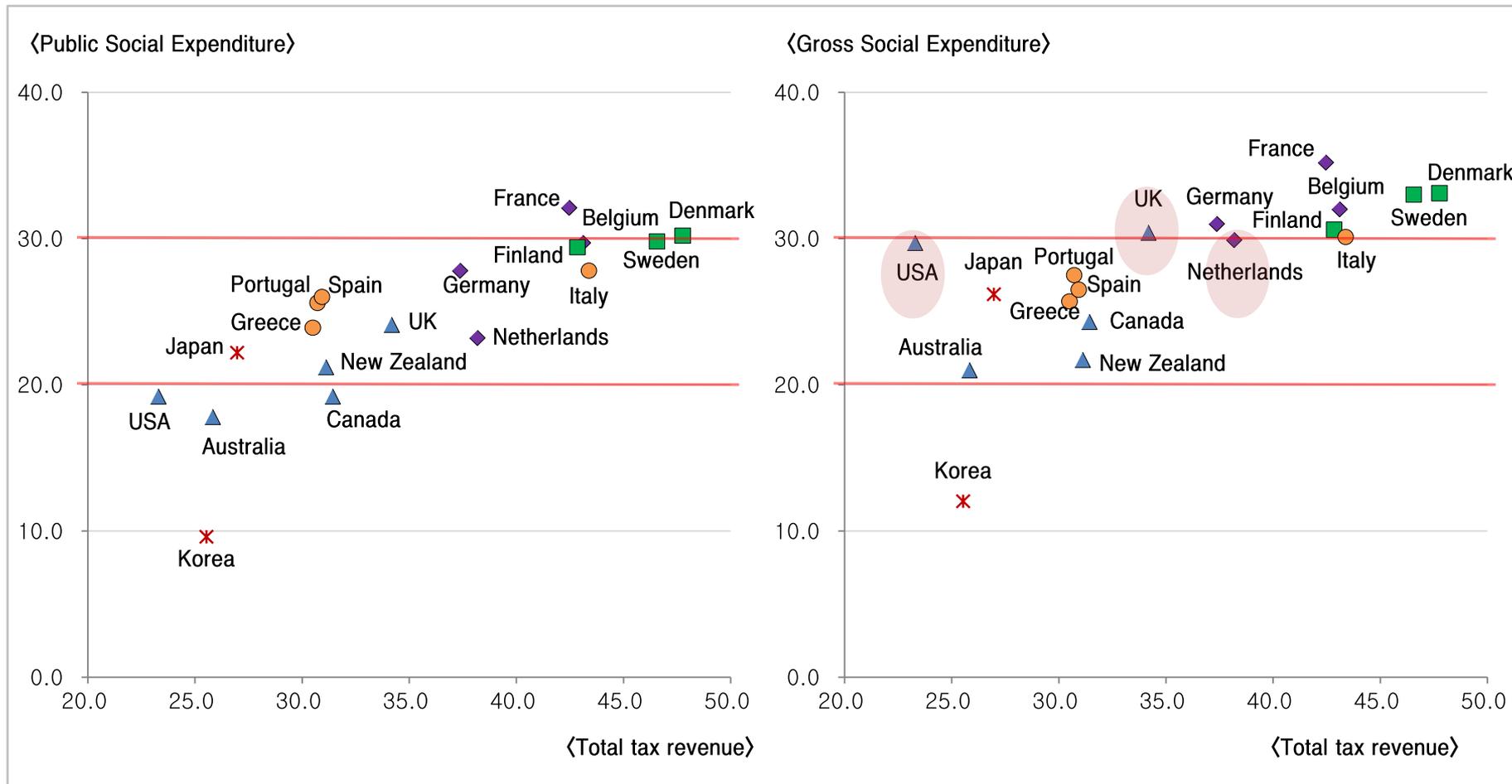
単位：GDPに対する比率(%)

区分	機能別	現金/現物	分類	プログラム	英国	(%)	米国	(%)	韓国	(%)		
民間支出	全体				6.283	100.0	10.571	100.0	2.425	100.0		
法定 民間	小計	計			0.982	15.6	0.326	3.1	0.935	38.5		
		現金			0.982	15.6	0.167	1.6	0.771	31.8		
		現物					0.159	1.5	0.164	6.8		
	老齢	計				0.679	10.8			0.657	27.1	
		現金	年金		Contracted-outemployees、最低年金支払保証(GMP)	0.679	10.8					
			その他		退職金(20%) 退職年金					0.477	19.7	
			その他		交通/通信費減免(高齢者)					0.179	7.4	
	現物	その他							0.001	0.0		
	勤労無能力	計				0.113	1.8	0.167	1.6	0.103	4.2	
		現金	有給病気休暇(労災&疾病)		勤労者の保障：法定民間現金給付			0.161	1.5			
			有給病気休暇 (その他疾病手当)		休業給付			0.006	0.1	0.065	2.7	
			その他		一時金：雇用主の法定給付 その他定期的現金給付：雇用主の法定給付(疾病)	0.057	0.9					
		現物	その他		交通/通信費減免(障害者/傷痍軍警)	0.057	0.9					
		保健	計						0.159	1.5	0.112	4.6
			現物						0.159	1.5	0.112	4.6
	家族	計								0.049	2.0	
		現金	出産・育児休暇		出産休暇					0.049	2.0	
		現物	その他		交通/通信費減免(児童)					0.000	0.0	
	失業	計				0.189	3.0					
		現金	失業手当/退職金		整理解雇基金(雇用主の法定給付)	0.189	3.0					
その他	計								0.014	0.6		
	現物	その他		交通/通信費減免(home-careprotection)					0.014	0.6		
自主的 民間	小計				5.302	84.4	10.245	96.9	1.490	61.5		
	老齢	計			4.515	71.9	3.901	36.9	0.003	0.1		
					退職者に対する年金(民間セクター)	2.228	35.5	3.901	36.9			
					退職者に対する年金(公務員)	2.287	36.4					
	勤労無能力	計			0.437	7.0	0.392	3.7	0.002	0.1		
	保健	計			0.299	4.8	5.940	56.2	0.056	2.3		
	その他	計			0.051	0.8	0.011	0.1	1.428	58.9		

※資料：OECD. stat.

別添：主要OECD加盟国の福祉支出と負担水準(2009)

単位：GDPに対する比率(%)



❖ 注：全体の社会福祉支出は、公共社会福祉支出と民間社会福祉支出をあわせた数値。

❖ 資料：OECD. stat.